

3号機R/B1FL 高線量物品の移動について

平成26年3月27日
東京電力株式会社



無断複製 転載禁止 東京電力株式会社

1. 概要

1

- 3号機原子炉建屋内の高線量物品を、建屋内線量低減のため、原子炉建屋外でコンテナ型遮へい容器に収納の上固体廃棄物貯蔵庫に移動する。
 - ・高線量物品は、紙ウエスであり、線量は表面近傍で約1Sv/h (H25.12測定)
 - ・紙ウエスはH23.11に3号機原子炉建屋北東のPCV機器ハッチレール付近の水を拭取ったもの
 - ・コンテナ型遮へい容器収納後の遮へい容器表面線量は120mSv/h程度になる見込み
 - ・コンテナ型遮へい容器収納までに、周辺の放射線モニタ指示値上昇の可能性ある (運搬中はモニタ監視を強化)
- 3/18夕方から夜間に実施予定 (荒天時中止, 予備日: 3.19)

高線量物品の構内運搬手順

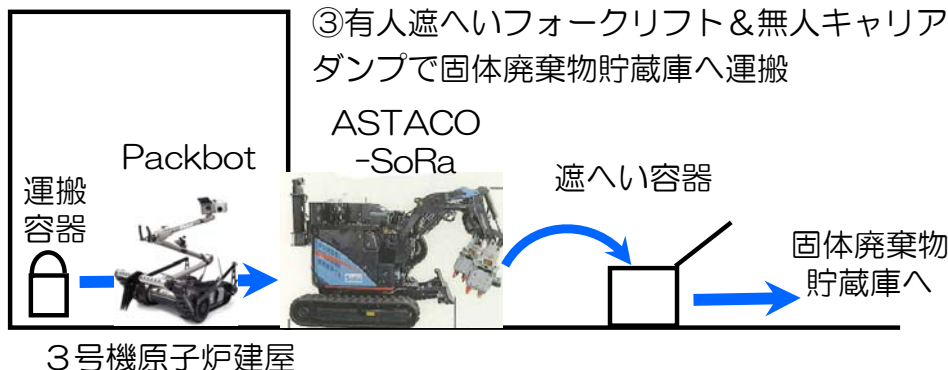
- ① Packbotで原子炉建屋搬入口まで運搬
- ② ASTACO-SoRaで遮へい容器に収納
- ③ 有人遮へいフォークリフト&無人キャリアダンプで固体廃棄物貯蔵庫へ運搬



高線量
紙ウエス
(H25.12時点)



紙ウエスの入った
運搬容器 (現状)

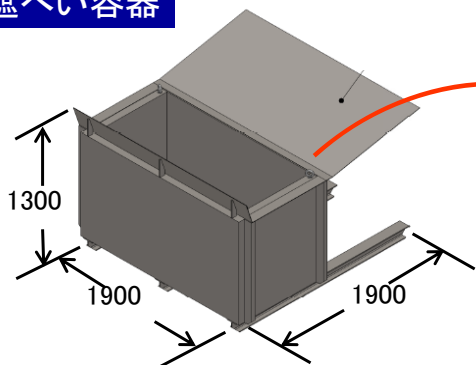


無断複製 転載禁止 東京電力株式会社

■ コンテナ型遮へい容器の効果

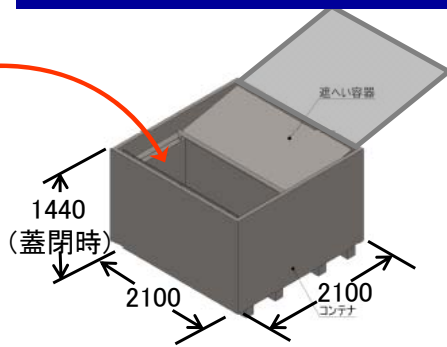
- ・対象収納物線量当量率・・・約1000 mSv/h
- ・計算上の遮へい効果・・・約1000 mSv/h→ 約120 mSv/h(遮へい容器+コンテナの評価)
- ・構造:コンテナ+遮へい容器(遮へい容器をコンテナに収納する)
- ・有人遮へいフォークで蓋を閉めるまでの上方遮へいとして、鉛毛マット(6枚)を被せる

遮へい容器



- ・材質 : SS400
- ・容器厚さ : 80mm
- ・容器重量: 約4300kg

コンテナ(遮へい容器収納)



- ・材質 : SPCC.
(冷間圧延鋼板)
- ・容器厚さ(側面) : 2.3mm
- ・容器厚さ(床板・上板) : 3.2mm
- ・容器重量 : 約940kg



コンテナ収納遮へい容器



使用するコンテナ外形

3. 実績

- 3/18に固体廃棄物貯蔵庫まで運搬済
- 高線量汚染物(コンテナ投入後)線量測定結果

上面: 46.0mSv/h
※蓋閉後



側面: 1.8mSv/h

側面: 6.9mSv/h

コンテナ型遮へい容器

- 最大被ばく線量: 0.39mSv